

大 会 注 意 事 項

1. この大会は、2024年（財）日本陸上競技連盟競技規則と大会要項ならびに申合せ事項に準拠して行う。ただし、児童の年齢を考慮した教育的な配慮も行う。

2. この大会に参加できる選手は、小学校第5学年と第6学年の年齢に該当する者とする。

3. 選手受付について

大会前日の13:00～14:00か大会当日の7:30～8:30に、競技場室内走路にてチーム代表者が行き、アスリートビブス、プログラム（選手人数分プラス1冊）等を受け取る。（選手個別の受付はできない。）

4. 競技場使用について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とする。
- (2) ~~競技場内の室内走路は開放しない。~~ 荒天の場合は、jogのみ室内走路を開放する。
- (3) 救護室は競技場内に設置する。（ただし応急処置のみとする。）
- (4) 競技場での練習時間は以下の通りとする。安全に十分配慮して行うこと。

29日(土)	13:00～16:00	県営陸上競技場	雨天時高跳び禁止
30日(日)	8:30～9:45	県営陸上競技場	ボール投げは禁止
30日(日)	9:00～14:30	補助陸上競技場	ハードル、高跳びは不可 ボール投げは可能だが各自持参

【県営陸上競技場】

- ★1～2レーンは、長距離の周回練習用とする。
- ★正面スタンド前3～7レーンは、100m練習用とする。
- ★同 8～9レーンは、ハードル練習用とする。
- ★第2コーナー、第3コーナーの6～9レーンは、リレー練習用とする。
- ★第1曲走路とバックストレート3～5レーンは、流しなど短距離練習用とする。
- ★フィールド内芝生でのボール投げ練習は禁止する。

【補助陸上競技場】

- ★基本的には、上記の練習区分と同様とする。
- ★ハードルと高跳びのマットは使用できない。
- ★フィールド内芝生は、ボール投げとするので、他の練習は禁止する。

5. 競技者の招集について

- (1) ~~招集所は、競技場第2コーナーゲート（リレーの2走スタート地点）付近に設置する。~~
- (2) 招集時刻は、その競技開始時刻を基準として下記のとおりとする。

種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
100m・800m・1000m・ コンバインドAの80mH・400mリ レー・100m友情レース	30分前	15分前

コンバインドAの走高跳・コンバインドB	40分前	25分前
---------------------	------	------

- (3) 選手は掲示してある出場選手一覧表にチェックをした後（自分の番号を○で囲む）、招集完了時刻5分前までに招集所に集合し、点呼を受ける。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を棄権したものとして処理する。

6. 競技運営について

- (1) アスリートビブスは、配付されたままの大きさをユニフォームの胸背部に確実に固定する。トラック競技に出場する競技者は、招集所で受け取る腰ナンバーをランニングパンツ右側上部やや後方につける。
- (2) スタートのコールはイングリッシュコールとする。（「On your marks.」「Set.」。1000mと800mは「On your marks.」のみ）
- (3) 短距離競走のスタートはクラウチングスタートとする。ただし、スターティングブロックは使用しなくてもよい。同じ競技者が2回不正スタートをした時には、その競技者は失格となる。
- (4) タイムレースでは、同記録の場合に写真判定主任が写真を拡大し、より細かく判定して決勝進出者を決める（計時は1/1000秒単位で、表示は1/100秒単位）。それでも決められない場合、空きレーンがあれば9人（リレーは9チーム）で決勝とする（入賞は8位まで）。空きレーンがない場合は、抽選とする。
- (5) リレーのオーダー用紙と友情レース出場者記名用紙は、受付時に受け取り、監督・引率打ち合わせ（9:00～）終了直後に大会総務に提出する。決勝進出の場合、原則予選のメンバーを替えられないので、オーダー用紙の提出は必要ない。ただし、走順を替える場合は、召集開始60分前までに大会総務に届け出ること。
- (6) リレー競技においては、原則としてそのチームで同一のユニフォームを着用する。ただし、デザインや配色が同一であれば、タイプが違っていてもよい。また、ランニングパンツの選手とスパッツ等の選手が混じっていてもよい。
- (7) リレー競技のマーカー使用は1カ所とし、マーカーは各チームで用意する。ただし、使用したマーカーはそのチームで処理する。テークオーバーゾーンは30mとし、第2～4走者のスタートはゾーンの中からとする。
- (8) コンバインド種目は、別に定める得点により順位を決定する（日本陸連HP参照）。得点と同じ選手は同順位とする。
- (9) コンバインドAについて

- ① 80mハードルは男女とも以下の規格で実施する。

スタートから第1ハードルまで	高さ	インターバル	台数	最終ハードルからフィニッシュまで
13m	70cm	7m	9台	11m

- ② 走り高跳びのバーの上げ方は下記の通りとする。

男子 1m～(5cmずつ) 1m25 1m28 1m31 以上 3cmずつ上げる。

女子 1m～(5cmずつ) 1m15 1m18 1m21 以上 3cmずつ上げる。

- ③ 走り高跳びは、マットへの着地は足裏からとし、背や腰からの着地は無効試技とする。
- ④ 走り高跳びは、2回続けて失敗すれば試技を終了とする。

(10) コンバインドBについて

- ① ジャベリックボール投げは、男女とも以下の内容で実施する。

使用球	競技場所	投てき角度	助走距離
ジャベボール	ヤリ投げピット	ヤリ投げと同じ	15m以内

試技の際には、ボール本体を持ち、オーバーハンドスローで投げることにする。

② 走り幅跳びとジャベリックボール投げは、それぞれ2回の試技とする。

7. 各種目3位までの入賞者にメダルを授与し、8位までの入賞者に賞状を授与する。表彰式は3位以内とし、室内走路の控え場所に待機すること。表彰式は、盗撮防止の観点から、ユニフォーム姿では参加できない。4位以下の入賞者は、室内走路にて表彰係から賞状を受け取ること。

8. 全国大会について

(1) 男女各5年100m、6年100m、コンバインドA、コンバインドBと混合4×100mの1位を、全国小学生交流大会の秋田県代表とする。

※ 全国大会は9月21日(土)～23日(月)(大会は22日(日))、国立競技場で開催され、全日程を選手団として同行できない選手は参加できない。また、リレーの登録メンバーは県予選と同じとする。

(2) コンバインド種目において1位選手が複数の場合の全国大会選考方法

① 2種目のうち、より得点の高い種目がある選手とする。

② 2種目とも全く同じ点数の場合、コンバインドAは走高跳のルール(試技数等)に準じて上位にあたる選手を、コンバインドBはジャベリックボール投げの記録が良い選手とする。

③ 上記で決まらない場合は、抽選とする。

(3) 全国大会の出場権を獲得した選手の引率者は、出場の可否を確認するので、競技場内事務室付近の受付に来ること。

(4) 辞退者が出たり事情があったりする場合の代表選手の選考は、主催者で判断し決定する。

(5) 大会終了後、全国大会出場選手の引率者(又は保護者)による打合せ会を実施するので、必ず出席すること。

(6) 全国大会出場選手は、大会前に行われる事前練習会に参加すること。

9. 東日本大会について

(1) 男女各5年100m、6年100mの2・3位、男子1000m、女子800mの1～3位、男女各コンバインドの各単体種目(80mハードル、走高跳、走幅跳、ジャベリックボール投であり、コンバインド種目は無い)における全国大会出場者を除く上位2名、リレーの2位チームは、東日本都道府県小学生陸上競技交流大会に出場できる。※ 東日本大会は8月3日(土)～5日(月)(大会は4日(日))、函館市・千代台公園陸上競技場で開催され、選手団として同行できない選手は参加できない。

(2) コンバインド種目の単体種目における選考方法

① 8位以内で、両方の種目で記録を残した選手

② 同記録の場合は、コンバインド種目の上位選手(試技回数やセカンド記録ではない)

③ 同一選手が両方の種目で選考対象になる場合は、本人の希望に基づくものとする(ただし、選択する種目によって、他の選手の選出に影響がない場合に限る)

(3) 東日本大会の出場権を獲得した選手の引率者は、出場の可否を確認するので、競技場内事務室付近の受付に来ること。(特にコンバインド種目の選手の入賞者は、出場権を獲得している

か、賞状を受け取る際に必ず受付で確認すること。

- (4) 大会終了後、出場選手の引率者（又は保護者）による打合せ会を実施するので、関係者は必ず出席すること。
- (5) 出場選手は、大会前に行われる事前練習会に参加すること。

10. 入場・撮影の制限等

- (1) 大会前日（29日）は、13:00～16:00にサイド・バックスタンドにテント等を設営できる（大会当日も可）。バックスタンドの前部手すりには、大会当日にスポンサーの横断幕を掲示する。メインスタンドへは入場できない。
- (2) 大会当日（30日）は、7:00～メイン・サイド・バックスタンドに入場できる。メインスタンド裏のコンコースにシート等を敷くことができるが、メインスタンド観覧席にテープやシート等で場所取りはできない。
- (3) 100mスタート付近の横と後ろのスタンドに、盗撮防止の観点から立入禁止エリアを設ける。
- (4) 競技中の競技場の入退場は、すべて競技役員の指示に従う。競技をするとき以外は、競技場内に立ち入ることはできない。競技場内での写真撮影は、大会本部に申し出て許可を得た場合以外は禁止する。

11. その他

- (1) 駐車場は、県立中央公園内の駐車場を利用できる。園内の歩道や緑地地帯へ乗り上げて駐車したり、緊急車両通過用の空きスペースに駐めたりしないようにすること。
- (2) メインスタンドでは、出入り口付近、通路、最前列の手すり付近に立って観覧することを禁止する。また、サイドやバックのスタンドから足を出す等をしての観覧することも禁止する。
- (3) 本大会主催者は、個人情報保護に関する法律および関連法令等を遵守して個人情報を取り扱う。なお、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成及び作成、記録発表、ホームページ、その他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- (4) 映像・動画・画像の二次使用について

本大会主催者及び日本陸上競技連盟いずれかが認めた報道機関や大会の協賛・後援の各団体が撮影した大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を、主催者および主催者が認めた第三者が大会運営および宣伝等の目的で、大会ポスター・プログラム・パンフレット・大会報告等への使用、およびテレビ・ラジオ・新聞・雑誌・SNS・ホームページ等の媒体に掲載することがある。（主催者の許可無しに、大会の映像・動画・画像・記事・個人情報等を上記の媒体に掲載することを禁止する。）

- (5) ゴミは各自で持ち帰ることを原則とする。
- (6) プログラムの訂正は、監督・引率者打ち合わせ終了時までには大会総務に届け出ること。一般のプログラム販売は、1冊1000円で正面入口にて行う。
- (7) 監督・引率の打ち合わせは、30日(日)9:00から競技場内室内走路で行う。
- (8) 選手の参加記念品は、10:00～12:00に競技場内で配付する。受付の際に配付する引換券を持参すること。